

# 日本語できく 鳥たちの声

さえずりは戦いの序唱

鳥たちのさえずりは、彼らが楽しむためではなく、オスがメスを呼ぶための求愛の合図です。愛の歌、などというよりもロマンチックですが、巣をつくり、卵を生み、ヒナを育て、自分たちの子孫をふやすための、いわば自然界での戦いの序唱です。と同時に、さえずりには自分のなわばりを宣言する意味もあります。

いっぽう、声を出せないとか、あまりきれいな声でないものは、キツツキの仲間のように木をたたいたり、ヤマドリのように翼をはばたいてドドド…という音を出したり、また、コウノトリはくちばしをカクタネットのように鳴らしたりして、声のかわりにします。

求愛やわばりを守るとき以外、つまりふだん仲間同志の合団などには、短くて地味な声を出します。これが地鳴きです。あのウグイスさえ、地鳴きは驚くほど地味です。

ところで、鳥の声を人間のことはに置きかえておぼえる方法があります。これが「ききなし」で、ご覧のように面白いものがたくさんありますね。もちろん人によって聞きかたも違いますから、自分で聞いて、感じて、ことばをつくってみるのも、鳥に親しむ近道になるでしょう。



ヒトの心の中にトドリの保護区

財團法人日本鳥類保護連盟  
サンタリー株式会社

●この広告は、財團法人日本鳥類保護連盟の指導を得て、サンタリー株式会社がシリーズとして制作するものです。



愛鳥の心が育てる  
よい環境  
**46**

## 4月の野鳥メモ



●春の潜を船で渡るのもよいこころ——オミズナギドリ、ハシボノミスナギドリ、トウツクカモモ、それにカモモの仲間たちが春の潜ざしをあげています。



●夏島いちばん——本州中部以南なら、4月下旬にはツンドリガノそして、センドウムシクイ、キビタキ、サンショウウオ、オヨシギ!、オオルリ、コサメビタキなどが続々とやってきますよ。  
●この月「動物の保護及び管理に関する法律」が施行されました(昭和49年)。

●美しい自然=「庭に小鳥を」のパンフレットをお分けします。ご希望の方はお名前と住所・性別・年齢・職業をお書きになり、边りとして切手300円同封のうえ次の宛先までお送りください。〒103-91 東京都中央区日本橋筋区内水書箱第231号 サントリー株式会社愛鳥キャンペーン「庭に小鳥を」係